

⑦地域における環境保護活動事例の紹介 [青森県]



北東北では、豊かな自然に親しみながら、環境について学ぶことができるんだよ。
それはとても大切で幸せなことなんだ。

■だんぶり(トンボ)池をフィールドに、酸性雨・雪の調査活動を展開 HEP21エコクラブの取り組み(青森県弘前市)

HEP21 エコクラブは、「ひろさき環境パートナーシップ21(HEP 21)」の中に子どもたち20名ほどが集まり、平成14年に誕生しました。大人の人たちと一緒に、休耕田10枚を“だんぶり池”に再生するため、休耕田にぎっしりと生えていた背丈ほどの柳の根をスコップでほってぬいたり、土運びや草かり作業などを10年以

上の間続けてきました。だんぶり池には今、41種類ものだんぶり(トンボ)、メダカ、ホタルなどたくさんの生き物がよみがえり、カワセミなどの野鳥たちもやって来ています。月1回毎の例会には、だんぶり池の生き物調査、酸性雨・酸性雪の計測調査、身近な水環境調査、地産地消のエコクッキング、海や山でのエコキャンプ

などを楽しんでいます。そして、月例会での楽しかった様子をメンバーみんなでアイディアを出しあいながら「壁新聞」にまとめ、こどもエコクラブ全国事務局に送っています。平成28年には、こどもエコクラブ全国フェスティバル壁新聞部門で環境大臣賞(最高賞)を受賞しました。



全国フェスティバルでの壁新聞セッション



土淵川の水はきれいかな? 身近な川の水質調査で

■ESDの視点を取り入れた環境教育 八戸市立種差小学校の取り組み(八戸市)

◎種差の自然と人とのつながり

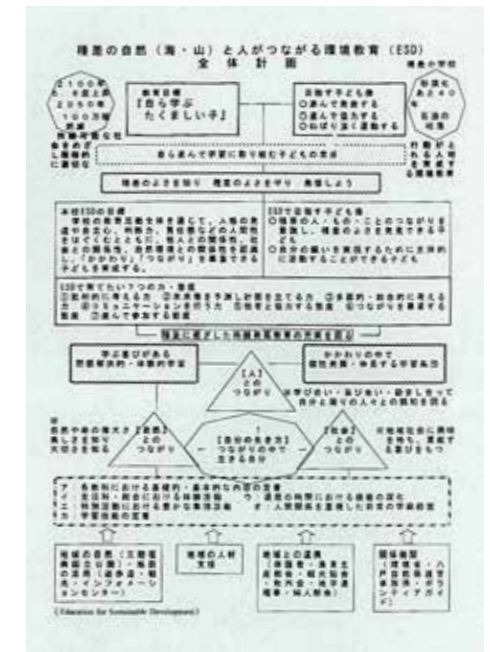
全学年が多様な主体と連携しながら、種差海岸の保全活動や紹介パンフレットの制作、種差の良さを活かしたお菓子作りなどの活動を通じて、種差海岸の価値発見と魅力の発信をしています。

◎連携している主体

環境省東北地方環境事務所八戸自然保護官事務所、種差海岸インフォメーションセンター、種差海岸ボランティアガイドクラブ、南浜地区漁業生産部会、種差観光協会、種差少年自然の家等多数。

◎ESD(持続可能な開発のための教育)

全体計画をもとに、1・2年の生活科、3~6年の総合的な学習の時間を、各学年のESDカレンダーとして設定して、全校で取り組んでいます。自然・人・社会・生き方の4つの視点でESDを推進しています。



自然とのつながり



海岸清掃活動



特定外来生物オオハシゴソウの駆除活動

人とのつながり



環境出前授業



漁業生産部の方々と体験活動

社会とのつながり



種差を紹介するパンフレット作り



種差の良さを活かしたお菓子作り

自分の生き方



子ども新聞やお礼のお手紙を通じて、その人の生き方に共感する活動

■ESDとは、
今も将来も幸せに暮らせる社会を目指し、
毎日の暮らしの中で
「考え、学び、気づくこと」

ESD(Education for Sustainable Development)とは、「一人ひとりが世界の人々や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育のこと」を言い、単なる知識の習得や活動の実践にとどまらず、日々の取り組みの中に問題解決に必要な能力・態度を身に付けるための工夫を継続していくことが求められています。



かんきょう
環境保護活動は自分でできることから
はじめるのがいいね。
無理せず長く続けることが大切です。

■ひろおもてエコクラブの取り組み(秋田市) ~活動参加者(小学生)の報告~

ひろおもてエコクラブは、毎月1回、身近な地域について自然観察やごみ拾い、エコクラフトなど様々なことに挑戦しています。ちょっと山のおくまで行き、自分たちの地域に流れている川の上流の様子を観察しました。そこでは水がとても冷たく、水質も良く、本でしか見たことがなかったカワゲラな

ど、きれいな水にすむ生物もたくさん観察することができました。また、活動での学びや気づきなどをかべ新聞にまとめて小学校の学習発表会で掲示しました。地域の方々にもこの活動を通して環境への関心をさらに高めてもらったり、新たな仲間が増えるように呼びかけています。

学校の周りには、まだ山や田んぼもありますが、年々住宅地などに変わっているところが増えて、環境は変化してきました。この活動での経験が、大人になってからも何か心に残って役立つことがあればいいと願いながら活動しています。



住んでいる地域の上流の水質調査をしました。水生生物の種類を調べたりパックテストを行ったりしました。



学校の裏山のクリーンアップをしました。毎回ですが、タバコのすいごらや生活のゴミなどで、ふくろがいっぱいになります。

■豊かな自然環境に親しみ、学び、調べる活動
北秋田市立鷹巣南小学校の取り組み(北秋田市)

◎ふるさとの自然を学びのフィールドに
豊かな自然環境に親しみ、学び、調べる活動で、自分にできる日常的な行動力を高めています。

◎地球にいいことはじめよう(こどもエコクラブ)
南小学校の合い言葉。環境教室などでゲストティーチャーから学び、考え、調べ、こどもエコクラブ員としての生き方を模索しています。

【活動にご協力いただいているみなさん】
森林事務所、地域振興局森づくり推進課、秋田県生活環境部、JA鷹巣町、JA全農あきた、世界遺産センター藤里館、大館EM 未来の会、自然観察指導員、北秋田保健所、北秋田市役所、七日市公民館、老人クラブ、婦人会、子ども会育成連合会、学校支援地域本部、学校後援会、地域のみなさん

育む 関わる 親しむ



春:植樹 夏:親子で下刈り



EM 環境教室



地域探検



学校田(春の田植え、秋の稲刈り)



田んぼの生き物調査



白神山地で自然観察会

- 未来に向かって緑の少年団の森づくり**
 - 森づくり
 - ・地域の方々に支えられて60年
 - ・水を貯え、快適な空気をつくり、多様な生き物を養う森の育成
 - ・森林学習会で学び、未来に向かって植林の継続
 - 学校田・農園
 - ・主食の米づくりに挑戦
 - 「南っこまち」と命名し、学校祭で販売
 - ・EM 堆肥を農園活動に活用
- 自然の仕組みを学び、考え、調べ、行動**
 - 調査活動をし、理科研究発表会で発表
 - ・田んぼの生き物調査
 - ・学校田周辺の動植物、水質調査
 - ・気象チーム冬の気象観測
 - ・天気、積雪、雪の酸性度、雪消え調査
 - リサイクル
 - ・エコキャップ運動やプルタブ回収
- 自然に親しみ、自然が大好きな子**
 - 自然とつぶりつかつて
 - ・移り変わる自然で遊び、身近な生き物と親しみ、木の実を食べ、作品づくり
 - ・ネイチャーゲーム
 - 地区の自然に親しむ
 - ・元壠探検
 - ・岩脇大ブナ街道探検
 - 探検クラブ(正課)
 - 地方の自然に親しむ
 - ・太古の森世界遺産白神山地で自然観察会

かんきょう
⑦地域における環境保護活動事例の紹介 [岩手県]



ネイチャーゲームでは、気がついたことや感じたことをみんなで話し合うことが大切です。

自然を五感で感じよう ネイチャーゲーム
もりおかしらゆりがくえん いわてけんもりおかし
盛岡白百合学園小学校の取り組み(岩手県盛岡市)

フィールドビンゴの方法

- ① 少人数のグループに分かれます(3・4人)。
- ② 全員にビンゴカードを配ります。
- ③ ルールをみんなで確にんします。
・カードにあるものを様々な感覚を使って、さわったり、においをかいだり、音を聞いたりしてさがします。
・グループ全員が、みつけたものを確にんできたら、カードに印をつけます。一人がみつけたら、みんなに伝えましょう。
・生きているものは持ち帰らないようにします。自然のなかでいっしょうけんめい生きている生き物の世界を守ってあげましょう。
- ④ さがす広さと集まる方法を確にんします。集合の合図や時間を決めて、みんなで守りましょう。

⑤ 活動開始

いそがず、あわてず、ゆっくりとグループで行動します。
・鳥や虫など生き物たちをおどろかせないように、きずつけないよう静かにさがしましょう。

⑥ 集合

見つけたものについて話し合しましょう。



何本ビンゴができたかな？

ネイチャーゲームとは？

ネイチャーは、自然という意味の英語です。1979年、アメリカ合衆国のジョセフ・コーネルという人が発表した、体の五感(見る、聞く、におい、味わう、ふれる)を使って自然を直接体験する野外活動です。現在、100種類以上の活動があります。
(公社)日本シェアリングネイチャー協会
<http://www.naturegame.or.jp/>



親子でネイチャーゲームを楽しむ盛岡白百合学園小学校のみなさん



くずまきちょうりつくずまきしょうがっこう
葛巻町立葛巻小学校では、町全体でクリーンエネルギーの設置・普及を進めている葛巻町の特性をいかしながら、省エネ活動やエネルギー学習に取り組んでいます。

エネルギーについて理解を深め省エネ活動
くずまきちょうりつくずまき 葛巻町立葛巻小学校の取り組み(葛巻町)

各学年によるエネルギー・省エネ学習



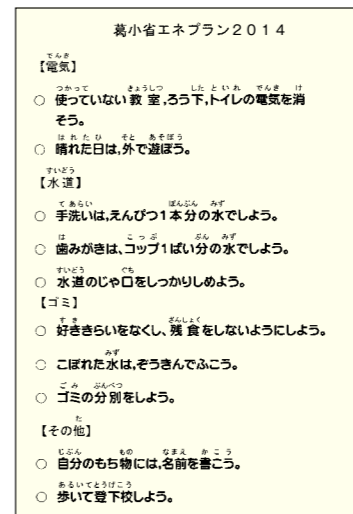
学年テーマ内容

- 1学年 風であそぼう
風車の製作など
- 2学年 うごくおもちゃをつくろう
いろいろな動力で動くおもちゃの製作
- 3学年 葛巻地域のエネルギー
クリーンエネルギー施設見学など
- 4学年 太陽光発電
太陽光発電施設見学など
- 5学年 森林・空気・水について考える
水生生物調査など
- 6学年 葛巻の新エネルギー
未来の葛巻町の暮らしの提案など

エコボランティア委員会を中心に全校活動

①「葛巻小 省エネプランの提案と実践」(6月)

毎年自分たちにできることを「葛小省エネプラン」として、具体的な実践項目を決めています。



②省エネ月間(6月)

・各学級で省エネプランの中から取り組むプランを2~3選び、それらについて取り組んでいく。終了後、エコ・ボランティア委員会が集め、『省エネ新聞』で全校に報告します。



③クリーン作戦

・エコ・ボランティア委員会が中心となり、全校で敷地内や地域の公共施設などのゴミ拾いや清掃活動を行っている。

④電灯のスイッチにシールを貼る

・教室や特別教室の電灯のスイッチに「黒板」「ろう下」「まど」といったシールを貼り、電灯のスイッチをつける際、むだな電気を使わないように工夫している。

⑤省エネのポスター掲示

・省エネプランを常に意識できるように、水飲み場や電気スイッチの近くにポスターを作り、貼っている。